

2019年6月16日

鏡岩水源地見学報告

広報 谷田耕三

6月13日、今年度第1回見学会が行われました。

9時45分、長良川バス停に21名が集合、長良川の南側の道を約15分歩き、現地に到着しました。担当者2名が門前で待っておられ、挨拶の後昭和初期の建物が並び、場内へ入り、登録重要文化財である水の資料館内で、担当者から岐阜の水道について説明がありました。

岐阜市の水道はすべて長良川の伏流水を水源としており、18か所ある施設のうちのひとつが昭和5年に給水を始めた鏡岩水源地です。長良川左岸に造った浅井戸から伏流水を汲み上げ、消毒液を加え、紫外線処理を行った後、配水場に貯め各家庭、工場に配水しています。名古屋の鍋屋上野浄水場のように通常ある沈砂池、ろ過池等の施設が一切ありません。伏流水がほとんどそのまま水道水として各家庭などに配水されている訳です。水道水の配水方法にこのような方法があることに驚きました。

その後、水の資料館内の展示物の説明、伏流水を配水池迄送っている送水管の現場などいろいろな施設を案内していただき、岐阜公園内を散策後解散となりました。



鏡岩水源地正門前に到着



名水百選の表示(環境省の選定)



水の資料館内の見学



集合写真(水の資料館と旧ポンプ室)